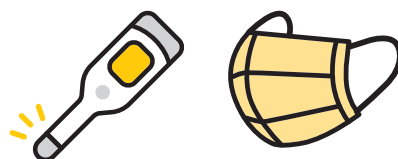


今月のトピック

当院の新型コロナウイルス感染症対策について

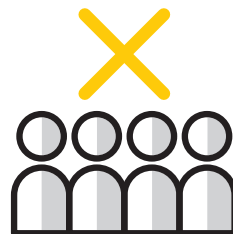
- 病院入り口で入館者全員に検温を実施し、発熱している方については一般の方と動線が交わらないように、対応する場所を完全に分けています。また、入館者全員の常時マスク着用をお願いしています。マスクについては、不織布マスクをお勧めします。



- 当院受診中の患者さんで必要と考えられる方に対しては、積極的にウイルスPCR検査をおこなっています。ウイルス抗原定量による高感度な迅速検査も必要に応じておこなっています。



- 無症状でウイルス感染している方が受診する可能性への対策として、飛沫が拡散する危険性のある検査や処置（肺機能検査、外来呼吸リハビリテーションなど）は中止しています。
- すべての入院患者さんに対して、院内感染を防止するために入院前にウイルスPCR検査を行い、陰性であることを確認した上で入院して頂いています。入院当日に再度検査する場合があります。
- 入院患者さんをウイルス感染から守るため、入院中の面会と外出は全面禁止です。
- 当院職員についてもウイルスに感染しないよう、職場での食事中的会話を禁止し、日常生活でも会食を制限するなどの対策をとっています。
- 当院を利用される皆様には、ウイルス感染防止対策につきまして是非ともご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。



（なお新型コロナウイルスの感染状況により変更する場合がございます。）

胸膜中皮腫について

(③アスベストとは)

アスベストは鉱物由来の繊維です。鉱物でありながら糸や布に織ることが可能（紡織性）、燃えない（耐熱性）、酸やアルカリにも強く（耐薬品性）、電気を通さない（絶縁性）、湿気に強い（耐腐食性）、安価（経済性）等、万能性を有し「奇跡の鉱物」と呼ばれ、各種産業に欠かせない素材でしたが、ただひとつ致命的な欠陥がありました。一旦肺の奥まで人知れず吸入されると、排出されることなく肺や胸膜に留まり、10年以上の時間をかけ生命を蝕むこともある「静かなる時限爆弾」だったのです。

アスベストは単一の鉱物ではなく、6種類が知られていますが、主として使用されていたのはクリソタイル（白石綿）、アモサイト（茶石綿）、クロシドライト（青石綿）の3種です（図1参照）。

その中でクリソタイルが、最も多く長く使用されていましたが、2006年9月1日に、法令上原則新規使用禁止（例外あり）になり、2012年3月1日に完全新規使用禁止（例外なし）を規定した厚生労働省令が施行されました。しかし、これらはあくまでも新規使用の禁止であり、既存の建築物等に含まれるアスベストは、広く社会に残っていることを銘記しておいてください。

アスベスト関連疾患として認められている（石綿健康被害救済制度の対象となる）のは「中皮腫」「石綿による肺がん」「石綿肺」「びまん性胸膜肥厚」の4疾患です。「胸膜プラーク（限局性胸膜肥厚）」も石綿吸入が原因となる所見ですが、疾患ではありません（図2参照）。

「肺がん」と「石綿肺」は肺の疾患ですが、「中皮腫」と「びまん性胸膜肥厚」は胸膜の疾患です。また、「びまん性胸膜肥厚」は臓側胸膜（「②中皮腫とは」参照）から壁側胸膜に及びますが、「中皮腫」「胸膜プラーク」が生じるのは壁側胸膜です。

アスベスト繊維は臓側胸膜から胸膜腔に出て、壁側胸膜に突き刺さる（Kiviluoto説）のではなく、壁側胸膜のところどころに開いている小孔（リンパ性ストーマ）から侵入しそこに留まる（Hillerdal説）と考えられています（図3参照）。

各アスベスト関連疾患には、「アスベスト曝露量」と「疾患出現までの時間（潜伏期間）」の関係に特徴があります（図4参照）。「中皮腫」「胸膜プラーク」は比較的少量のアスベスト曝露でも発生しますが、「石綿による肺がん」「石綿肺」の発生には比較的多量のアスベスト曝露が必要です。また、「中皮腫」「石綿による肺がん」などの悪性疾患の出現には、30～40年の時間が必要となります。

最後に、日本の「アスベスト輸入量」と「中皮腫死者数」の変遷のグラフを示します（図5参照）。日本の高度経済成長期に増大したアスベスト需要のピークから40年遅れで、中皮腫死者数のピークが来るとすれば、それは2030年台になることが予想されます。それこそが、アスベストが「静かなる時限爆弾」と呼ばれる由縁なのです。次回は「中皮腫の診断」について記載します。

参考文献

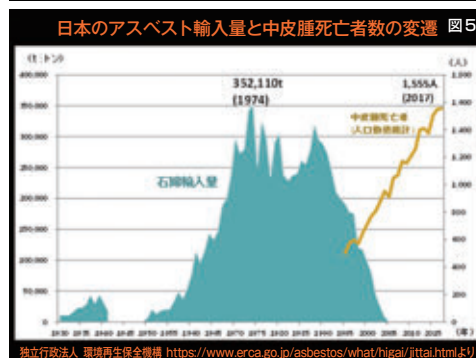
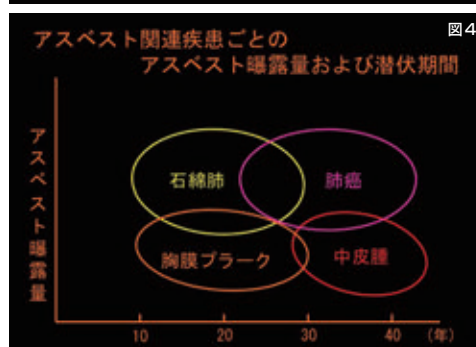
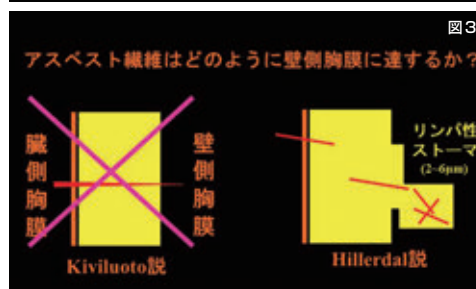
職業性石綿ばく露と石綿関連疾患—基礎知識と労災補償— 森永謙二 編（三信図書）

複十字病院 呼吸器内科 内山 隆司



図2 アスベスト関連疾患の種類

	ほぼアスベストが原因	アスベストも原因になる
肺	・石綿肺	・肺癌
胸膜	・中皮腫 ・胸膜プラーク (=限局性胸膜肥厚)	・びまん性胸膜肥厚



いとう まさし
伊藤 優志



- 配属先／呼吸器内科
- 出身地／東京都東村山市
- 出身大学、卒業年／
群馬大学
2019年卒

▶大学卒業後の主な経歴

国立病院機構渋川医療センターで初期研修終了後、群馬大学医学部附属病院呼吸器・アレルギー内科に入局しました。抗酸菌治療・気管支拡張症・呼吸器疾患のエキスパートを目指し、当院に赴任いたしました。

▶専門医・認定医資格

結核・抗酸菌症認定医

▶趣味及び特技

音楽鑑賞・ドラム

▶患者さんへのメッセージ

患者さんに寄り添う医療を心がけています。ご病気・生活のことなどお気軽にご相談ください。

こだま たつや
児玉 達哉



- 配属先／呼吸器内科
- 出身地／埼玉県さいたま市
- 出身大学、卒業年／
防衛医科大学校
2012年卒

▶大学卒業後の主な経歴

卒業後は防衛医大病院、自衛隊中央病院、長崎大学病院・長崎労災病院、三宿病院で勤務。自衛隊医官として国内の災害派遣活動や国際緊急援助活動に従事してきました。

▶専門医・認定医資格

日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本呼吸器学会呼吸器専門医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医、臨床研修指導医

▶趣味及び特技

サッカー観戦

▶患者さんへのメッセージ

一人一人の患者さんに寄り添い、適切な医療を提供できるよう尽力していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

もてぎ ゆうた
茂木 優太



- 配属先／消化器外科
- 出身地／埼玉県
- 出身大学、卒業年／
宮崎大学
2018年

▶大学卒業後の主な経歴

熊谷総合病院初期研修医
杏林大学消化器外科後期研修医

▶専門医・認定医資格

なし

▶趣味及び特技

バスケットボール観戦

▶患者さんへのメッセージ

患者さんやご家族の方々に寄り添えるような医療を提供できるように心がけています。何卒よろしくお願い申し上げます。

あら い
新井 あゆみ



●配属先／糖尿病科
●出身地／群馬県
●出身大学、卒業年／
群馬大学
2017年卒

▶大学卒業後の主な経歴

東京労災病院で初期臨床研修を終了後、日本医科大学付属病院糖尿病・内分泌代謝内科に入局。以後、付属病院や武蔵小杉病院で勤務。

▶専門医・認定医資格

なし

▶趣味及び特技

読書、楽器演奏

▶患者さんへのメッセージ

患者さんに寄り添った医療を提供できるよう誠心誠意努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

なか しま けい
中嶋 啓



●配属先／呼吸器内科
●出身地／宮崎県
●出身大学、卒業年／
北里大学
2018年卒業

▶大学卒業後の主な経歴

北里大学病院で2年間の初期研修後に杏林大学医学部付属病院呼吸器内科に入局しました。

▶専門医・認定医資格

なし

▶趣味及び特技

スポーツ観戦、映画、漫画

▶患者さんへのメッセージ

患者様に寄り添えるような医療をしていきたいと思っています。よろしくお願いします。



複十字病院は
公益財団法人結核予防会の病院です

予約・紹介のご案内

■受付時間

平日 8:30～17:00 土曜日 8:30～12:00

■医療機関・紹介状をお持ちの患者さんのご予約

電話 042-491-9128

FAX 042-491-3553

■再診・初診（紹介状なし）のご予約

電話 042-491-6228

複十字病院

〒204-8522

東京都清瀬市松山3-1-24

代表電話 042-491-4111

代表FAX 042-492-4765



交通のご案内

■電車でお越しの方

・西武池袋線『清瀬駅南口』より徒歩12分

または、バス『南口2番乗り場』より3つ目『複十字病院前』下車

・JR中央線 武蔵小金井駅より『清瀬駅南口ゆき』バス『保育園入口』下車
バス停より徒歩5分

■お車でお越しの方

・小金井街道『清瀬高校入口』信号を曲がり 西に300メートル

・所沢街道『全生園東』信号を曲がり病院通りを東北に2キロメートル